

歯★ピカクラブ 9月号

今月のテーマは『指しゃぶり』です 😊

お子さんの指しゃぶりはお父さん・お母さんの悩みのひとつ。。。4歳、5歳まで続くと歯並びに悪影響を及ぼす可能性もありますが、子どもにとっては『安心を得るため』の、一種の精神安定のようなもの。『指しゃぶり⇒いけないこと』ではなく、『指しゃぶり』という行為を理解し、あまり慌てず、ゆっくりと気長に寄り添い、付き合ってください。

子どもにとって“指しゃぶり”って!?

☺ 子どもにとって“指しゃぶり”とは??

「やめさせなくちゃ」ではなく、なぜするのかをみましょう!!

・寂しいとき、甘えたいとき、なんとなく安心したい、満足したい、という願望を手軽に満たしてくれるのが“指しゃぶり”なのです。

(お母さんのお腹の中にいる時からしている行為なんて“すゅ”)

実際に、夕刻のお子さんは眠いとき・寂しいとき・退屈しているときなどに、指しゃぶりをすることから、“心の安定”の役割を果していると考えられます。



4・5歳の指しゃぶり

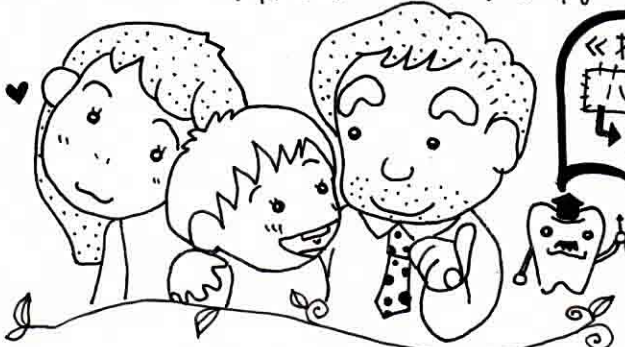
☹ 歯並びやアゴの形、発音に悪影響を及ぼす可能性ががあります。

4・5歳になると、理解力もできてきますので“無理にやめさせるのではなく、本人に『指しゃぶりをするとどうなるのか...』など”、話すことで本人が『自覚して止めようとする気持ち』をもたせましょう。

子どもは行動には何らかの理由があるはず (子ども自身、家庭環境など) 『いけないこと』には『いけない』と慌てず、自然に忘れられるようにしてあげることが理想です。

「指しゃぶりの影響」

- ① 歯並び... 上の前歯(乳前歯)が前方に出ます。
- ② 噛み合わせ... 上下の前歯が噛み合えなくなり、前歯で食べものを噛み切るという感覚をおぼえにくくなります。
- ③ 発音... サ行、タ行、チャ行、シャ行が不明瞭になりやすくなります。
- ④ くちびる... 閉口になりやすくなります。



「指しゃぶり防止アイテム」

バイター・ストッパ

これにぬるマニキュアタイプのものであ。苦み、しびれみがあり指しゃぶり防止に効果がありません。くわしくはスタッフまで。。。 X X にが!!